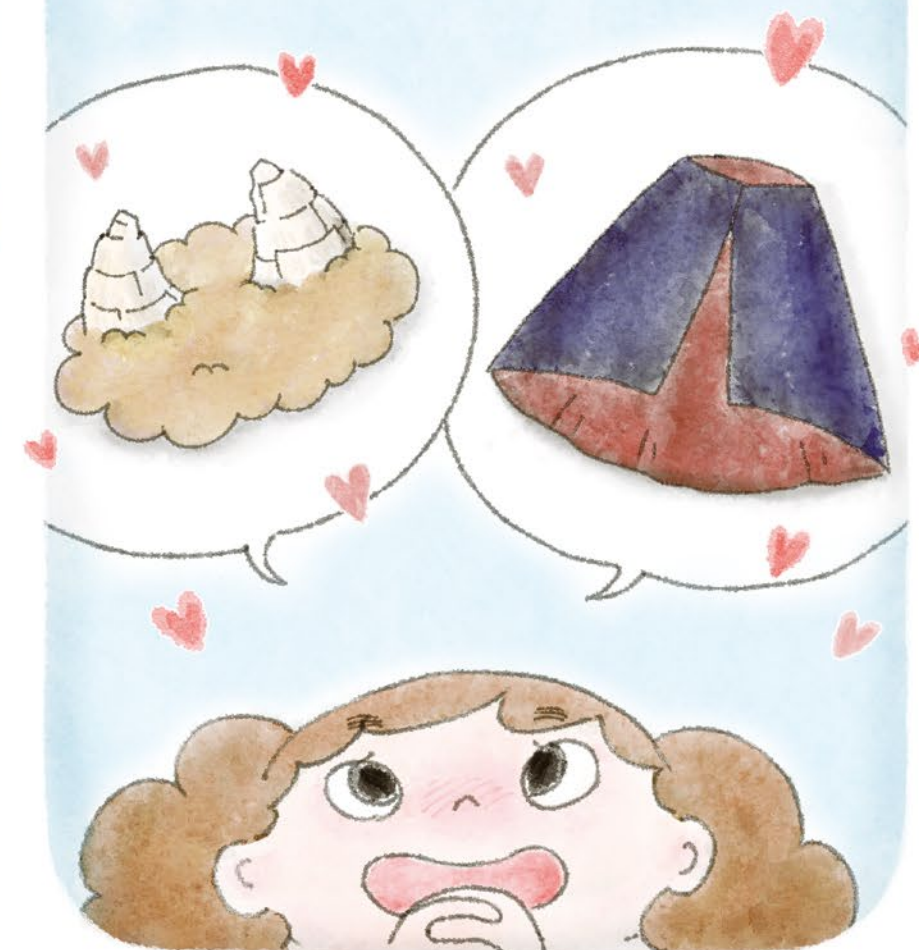


「タロちゃん！ それなら わたしの おひめさまの ドレスと、
とりかえっこしたら いいんじゃない？」

「えっ、 なつきちゃん!？」



「わたし、やじゅうに
なりたいんだ！
とんがった ツノと
ながーい マントが
すっごく かっこいいよね。」



「うん、とりかえっこしよう。」

ふたりは おたがいの いしょうを
こっそり とりかえました。



「そうだよ、ヘンだよ ヘンだ！」

「ながい かみの おとこなんて おかしいよ。」

「リボンも スカートも、おんなのこの ものだよね。」

ほかのこたちも、ふたりの とりかえっこを

ヘンだと いいだしたのです。



「おとこのこが ドレスを きるのって やっぱり おかしいのかな……。」



かなしい きもちと はずかしい きもちで、タロちゃんはおもわず なみだが でそうに になりました。

